

公認心理師

Certified Public
Psychologist

適切な心理支援で、 国民の心の健康を守る



OG VOICE

相談者のところに寄り添う
ことは、自身の成長にも
繋がっています

心理的な悩みを抱える人に寄り添いながら、「カウンセリング」「心理療法」「心理検査」「コンサルテーション」などあらゆる方法で支援を行っています。相談者の方の悩みや辛さに共感することで辛く苦しく感じることもありますが、相談者の方やさまざまな職種の方との関わりのなかで自分を見つめ直すことができ、自分自身の成長にも繋がる仕事です。支援を受けることに対する誤った知識や抵抗をなくし、心理的支援を必要とする人が支援を求めやすくなるようメンタルヘルスの知識の普及も図っています。



山下 夏美さん

国際医療福祉大学大学院
臨床心理学専攻助教
赤坂心理相談室 相談員
国際医療福祉大学大学院
臨床心理学専攻博士課程修了

どうすればなれる？

公認心理師国家試験に合格することが必要です。

受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の大学で4年間、必要な科目を修めて卒業、かつ大学院で2年間、必要な科目を修了する。文部科学大臣指定の大学で4年間、必要な科目を修めて卒業、かつ特定の施設で2年以上、心理職の業務に従事する。などの方法があります。



どんな仕事？

心の悩みの検査やカウンセリング

心理に関する支援を必要とする人および家族などからの相談に応じ、「心理検査」「カウンセリング」「心理療法」といった心理的支援やコンサルテーションを行います。メンタルヘルスの知識普及のための教育・情報提供など心理教育も担います。

どこで働く？

医療、福祉、教育、司法、企業など、
求められる場所は多種多様

病院	小・中・高校
保健所	司法関係
精神保健センター	民間企業
児童・老人・障害者支援施設	など

仕事の展開と将来の展望

ストレス社会の現代、 心理職の活動の場所はさらに広がる

今日、国民の心の健康問題は複雑かつ多様化し、それらへの対応が急務となっています。こうした背景のなか、心理職の国家資格「公認心理師」が日本で誕生。2018年に第1回公認心理師国家試験が行われました。国家資格制度により、一定の資質が維持された専門職者が多く生まれ、人々に広く利用されることが望まれます。業務は、医療、福祉、教育、司法、企業など諸領域にまたがります。